

北星学園大学

後援会だより

VOL.102

発行日 2010年8月2日
発行者 北星学園大学
後援会事務局
札幌市厚別区大谷地西2
丁目3番1号 〒004-8631
電話(011)891-2731
印刷(社福)北海道リハビリ-



2010年度 総会・懇親会開催

去る6月12日(土)、北星学園大学後援会の審議決定の場である総会及び懇親会が開催されました。今年度は、お忙しい中にも関わらず約120名の会員の皆様に参加いただきました。

総会は大学事務局次長の司会で、深澤秀則後援会会長、金井新二学長(顧問)の挨拶から始まり、後援会会長を議長に選出後、次の審議が行われました。全て提案どおり了承されました。

- ① 2009年度事業報告
- ② 2009年度決算および監査報告
- ③ 2010年度事業計画
- ④ 2010年度予算
- ⑤ 役員改選について

①②③④の詳細につきましては2ページ、⑤につきましてはこのページをご参照ください。
続いて、副学長から学生の課外活



就職講演会の様子

動に対する後援会からの援助や、後援会文庫の寄贈に係る謝辞があり、各学部長より学事状況が報告され、キャリアデザインセンター長からは就職状況の報告がなされました。

総会終了後には、毎年好評の、就職講演会を今年度も開催いたしました。今年度は、鈴木淳子就職支援課長から、「イマドキの就職活動」というテーマのもと、様変わりした現在の就職状況や子供の就職活動に対して親としてどう支援すべきか解説がありました。お子様の就職活動についてはなかなか情報が得にくく、このような就職講演会は皆様にとって大変貴重な機会のように、今年度も皆様に高い評価をいただきました。

その後は、毎年恒例の小グループでの大学施設の見学を行いました。マルチメディアフロアのある図書館をはじめ、チャペルや体育館、A館、就職支援課など主な施設のみの見学でしたが、施設見学は普段大学の校舎等を見学する機会が少ないご父母の皆様からの要望が大変多く、熱心に担当職員の見学説明に耳を傾けていらっしゃいました。

最後に大学会館3階(食堂)にて立食形式で懇親会が行われました。和やかな雰囲気の中進められ、大学教職員とご父母同士の数少ない貴重な交流の場となりました。1時間程度の限られた時間でございましたが、あっという間に過ぎてしまいました。日頃お子様と関わりのある先生達や同じ大学に子供が通う父母と直接懇談することが出来たことに、ご満足いただけたよう

です。
来年もより多くの会員の



和やかな雰囲気の懇親会

皆様の参加をお待ちしております。

第二回札幌地区 父母懇談会報告



去る7月3日(土)、北星学園大学校舎内にて第1回の札幌地区での父母懇談会が開催されました。特に就職関係の相談はできるだけ早い時期に行うことが望ましいということ、札幌地区でのみ7月に3・4年次(短大は2年次)を対象に実施し、今回は127組の申し込みがありました。

まず全体会では、深澤秀則後援会会長と、金井新二学長より大学の現状を含めた挨拶があり、次に坂内正



全体会で挨拶をする後援会会長

また、就職についての相談は、例年通り個別懇談前の待ち時間や面談終了後に就職支援課にて行いました。就職支援課には、各企業の資料や求人票、学生が情報収集に利用するパソコンなどが設置されており、実際に見て触れるなかで、お子様の就職活動に対して高い関心をお持ちになったようでした。

今後予定されている父母懇談会は左記のとおりです。申し込みされた方は、ご確認の上、お忘れなくご参加願います。また、申し込みは既に締め切っておりますが、希望される方がいらっしゃいます。事務局長までご連絡ください。準備の関係がございますのでお早めにお願いたします。

8月28日(土)	函館会場	ロワジールホテル函館
8月29日(日)	苫小牧会場	グランドホテルニュー王子
9月4日(土)	旭川会場	旭川グランドホテル
9月5日(日)	北見会場	ホテル黒部
9月11日(土)	釧路会場	釧路プリンスホテル
9月12日(日)	帯広会場	帯広ワシントンホテル
10月30日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎(全学年対象)

2010(平成22)年度 北星学園大学後援会 役員名簿

会長

深澤 秀則

副会長

佐藤 順子

高谷 尚子

監事

名越 敦子

伊賀 健次

在学生父母
理事

本家都志子

長谷川厚子

江口久美子

梶浦 尚身

湯浅 真美

室井 綾花

片山 修

池田 浩昭

金澤 直子

五十嵐 裕子

名取 信子

橋本 千代

池田 美帆

近藤 理映子

江畑 京子

浅水 志津子

小山 泰美

上端 邦夫

辻 裕子

小林 祥子

手代木 隆

江田 真奈美

広岡 淳子

出田 田鶴子

伊藤 祥子

小川 恵子

高橋 美佳

小野 瀬一記

松下 睦子

北守 裕恵

矢作 尚子

藤田 貴子

古市 俊章

江尻 昌子

高木 亮子

小山内 理誉

同窓生理事

斉藤 誠

中村 一寛

小村 知江子

2009(平成21)年度 北星学園大学後援会 事業報告 2010年3月31日現在

1. 会議の開催状況

- ① 2009年5月29日(金) 第1回 役員会 開催 (於:札幌ガーデンパレス) 51名出席
② 2009年6月13日(土) 総会・懇親会 開催 (於:大谷地キャンパス) 総会125名出席 懇親会104名出席
③ 2010年1月20日(水) 第2回 役員会 開催 (於:札幌ガーデンパレス) 役員会 39名出席 懇親会 39名出席

2. 予算執行状況

(1) 教育・研究条件整備補助事業

- 「後援会文庫」
●後援会寄贈図書 2,000,000円
●事務用機器補助
●パソコン、リソグラフィ他 1,787,570円
●教育用機器補助
●パソコン、車イス用木製閲覧テーブル他 1,945,670円
(2) 教育・研究活動補助事業
●北星ビジネス通信 300,000円
●学術出版補助
●「日本の暮らし・やまめ・後家・未亡人」(青木テボラ教授) 794,000円
●「東アジアにおける手話の語彙の比較」(佐々木大介専任講師) 304,500円
●「農村における福祉アソシエーション」(田淵直子教授) 998,330円
●「現代企業簿記の基礎」(松本康一郎教授・大原昌明教授) 1,000,000円
●「実践的マーケティング教育論」(西脇隆二教授) 787,500円
●「伝統の限界:インドネシアの農民と土地紛争」(浦野真理子教授) 1,000,000円

(3) 学術講演会・学会補助事業

- 北星英研補助 50,000円
●北星教職ネットワーク 194,100円
●北星心理学フォーラム 100,000円
●北星学園大学ジェンダー研究会補助 130,000円
●北星・心コミラウンドテーブル補助 147,022円
●学会補助
●文学部 阿部 敏夫 教授 「北海道地域文化学会」 110,000円
●文学部 江口 均 専任講師 「全国語学教育学会」 100,000円
●文学部 伊藤 章 教授 「日本アメリカ文学会北海道支部大会」 100,000円
●経済学部 酒井 徹 教授 「北海道経済学会」 110,000円
●経済学部 棚瀬江里哉 教授 「日本児童文学会」 200,000円

- 社会福祉学部 杉岡 直人 教授 「北海道社会福祉学会」 200,000円
●社会福祉学部 中田 知生 准教授 「数理学会」 103,905円
●短期大学部 吉田かよ子 教授 「日本オーラルヒストリー学会」 200,000円
●短期大学部 藤原 里佐 准教授 「北海道子ども学会」 130,000円

(4) 地区別父母懇談会事業

- 経費総額 6,591,069円

(5) 学生各種活動補助事業

- 課外活動補助
●全国大会出場補助(陸上、競技ダンス、硬式庭球、スキー部、中国スポーツ交流、ラクロス、合気道、ハンドボール、チアダンス、ピリヤード、放送研究会) 1,812,265円
●課外活動広告補助(硬式野球、アイスホッケー、ハンドボール、吹奏楽) 116,000円
●大学祭奨励金 300,000円
●大学祭テント、ブース他 1,700,000円
●ビデオカメラ 445,500円
●学内団体援助金 3,475,000円
●就職活動補助
●B-CATCH運用補助 2,625,000円
●就職支援セミナー他 920,525円
●SPI補助 1,978,400円
●国際交流活動補助
●国際交流活動、派遣留学生への奨学金補助 6,000,000円
●奨学事業補助
●成績優秀者奨励金補助 12,800,000円
●北星オープンユニバーシティ受講料補助
●オープンユニバーシティ受講料補助 7,998,500円

(6) 広報活動事業

- 後援会だより発行(年4回)(第97号6/1、第98号8/1、第99号12/1、第100号3/15) 2,708,668円
●後援会会員台帳(名簿) 19,845円

(7) その他の事業

- 事務運営費 518,008円
●役員会・総会・懇親会 1,644,356円
●事業基金への繰入 4,000,000円
●大学行事助成費
●フェアトレードバッグ、クリアファイル(新入生への記念品) 2,315,375円
●卒業記念祝賀会、卒業記念品贈呈、卒業証書用ホルダー 11,964,665円
●文化事業援助(オペラ、日本フィル、田口ランディ、大平真由美コンサート謝礼) 1,320,000円

3. 入会状況

在学生父母 4,314名、同窓生 6名(計4,320名)

2010(平成22)年度 北星学園大学後援会 事業計画

1. 2010年度 会員数見込

Table with 2 columns: 在学生父母 (4,341名), 同窓生 (6名), Total (4,347名)

2. 事業計画

(1) 教育・研究条件整備補助事業 (会則第4条第1号)

- ① 図書充実のため「後援会文庫」に関する補助(昨年度は、書架の補助をしなかったが、今年度は従来通り書架も合わせて寄贈する)
② 事務効率化のための事務用機器(事務部門に配置するPC等)の購入費補助
③ 教育用機器充実のための機器購入費補助(LED登校路照明の取り付け費用)

(2) 教育・研究活動補助事業 (会則第4条第2号)

- ① 教育・研究活動の充実のための補助(絵画・版画・顔縁、北星ビジネス通信印刷費、ツリー電飾ライト増設に係る費用)
② 教員の学術出版に対する補助

(3) 学術講演会・学会補助事業 (会則第4条第3号)

- ① 北星学園大学社会福祉学会年報「北星社会福祉研究」及び研究奨励に対する補助は、北星学園大学社会福祉学会が、2010年3月22日に解散総会を行い、学会活動を終了するため補助を中止する
② 北星学園大学英文学科卒業英語教員研究協議会(卒業生の中学・高校教員と本学教員)の活動に対する補助
③ 北星教職ネットワーク(特別支援学校を中心とした現職教員として活躍する卒業生のネットワーク)整備補助
④ 北星心理学フォーラムに対する補助
⑤ 北星学園大学ジェンダー研究会に対する補助
⑥ 北星・心コミラウンドテーブルに対する補助
⑦ 全国学会(含む北海道大会)の学内開催における補助

(4) 地区別父母懇談会事業 (会則第4条第4号)

- ① 札幌地区~全学部(文学部、経済学部、社会福祉学部、短期大学部)合同で開催(7月・10月)
※ 個別懇談開催前に学科別に控室を設けて軽食と飲料を提供し、父母同士の懇談ができるようにする。7月は学部の3・4年次と短期大学部の2年次のみを対象に実施する。10月については全学年を対象として実施する
② 北海道内主要都市等(函館、苫小牧、北見、旭川、帯広、釧路)で開催する。東京は、隔年開催を続けていたが、参加者が極端に少なくなったので、当分の間休止することとした。将来、希望が出てきた時に再検討する。また、実施方法については、個別懇談をスムーズに進めるために、例年と同様に全体会の時は、概ね学科別に担当者を困って昼食を取りながら基本的な説明を行う。

(5) 学生各種活動補助事業 (会則第4条第5号)

- ① 課外活動の充実のための備品購入
② 大学祭に係る援助
③ 全国大会出場者への補助(個人及び団体に対して旅費交通費等の一部補助)
④ サークル活動活性化に係る費用補助
⑤ 課外活動広告補助(大会等のプログラム広告掲出料)
⑥ 就職活動の充実のためにCDP講座講師料(9回分)、B-CATCH補助、エントリーシート添削補助、SPI試験料補助、就職支援課学生閲覧用TV購入、就職写真撮影用業者旅費負担
⑦ 国際交流活動の充実のためにCDP講座講師の補助、交換留学生への滞費補助、その他国際交流事業全般について
⑧ 奨学事業補助(成績優秀者奨励金補助)
⑨ 資格取得のための北星オープンユニバーシティ講座受講料補助(受講料の2割)
⑩ 北星オリジナルイベントブルゾン作成

(6) 広報活動事業 (会則第4条第6号)

- ① 「後援会だより」年4回発行「学園報」を会員に送付する。(学園情報の提供)
② 「会員台帳(名簿)」及び「後援会活動報告書」の作成

(7) その他の事業 (会則第4条第7号)

- ① 新入生への援助(フェアトレードトートバッグの提供)
② 在学生への援助(同窓会等との共催による文化講演会、各種コンサート開催等)
③ 卒業生への援助(卒業祝賀会開催、卒業証書ホルダー、卒業記念品贈呈等)

3. 事業基金取り崩し

特になし

4. 事業基金繰り入れ

今年度も昨年度同様、全体の事業計画及び予算の執行状況を勘案し、4,000,000円を繰り入れる。目的としては、大学50周年に係る記念事業のために執行することとしている。

Table with 13 columns: 開催地, 日程, 会場, 教職員数, 参加組数, ※() : 実人数. Rows include various locations like 札幌, 函館, 苫小牧, etc.

2009(平成21)年度 北星学園大学後援会 決算

【収入の部】 2010年3月31日現在

Table with 5 columns: 科目, 2009年度予算, 2009年度決算, 増減, 摘要. Rows include 会費, 受取利息, 雑収入, etc.

【支出の部】

Table with 6 columns: 会則事項, 科目, 2009年度予算, 2009年度決算, 差異, 執行率, 摘要. Rows include 第4条教育・研究条件整備補助, 第2号教育・研究活動補助, etc.

【後援会事業基金積立会計】

Table with 5 columns: 2009年度末残高, 2009年度繰入額, 2009年度取崩額, 2009年度末残高, 摘要. Rows include 事業基金, 受取利息, 計.

2010(平成22)年度 北星学園大学後援会 予算

【収入の部】 2010年3月31日現在

Table with 5 columns: 科目, 2010年度予算, 決算対比, 摘要. Rows include 会費, 受取利息, 雑収入, etc.

【支出の部】

Table with 6 columns: 会則事項, 科目, 2010年度予算, 決算対比, 摘要. Rows include 第4条教育・研究条件整備補助, 第2号教育・研究活動補助, etc.

【後援会事業基金積立会計】

Table with 5 columns: 2009年度末残高, 2010年度予算額, 2010年度末見込額, 摘要. Rows include 事業基金, 受取利息, 計.

北星学園大学からお知らせ

下記の通りコンサートと講演会を実施いたします。
入場無料ですので、どうぞお越しください。
申し込み方法等は下記をご参照ください。

◆ 弦楽三重奏団レイラと山崎 衆さんコンサート

日時：9月19日(日) 14時から
場所：北星学園大学チャペル
*演奏予定曲目/W.A.モーツァルト：フルート四重奏曲 八長調 K.285b
F.シューベルト：弦楽三重奏曲 変ロ長調 D.471
A.レイハ：フルート四重奏曲 八長調 Op.98-2 ほか

◆ 山根基世さん講演会

日時：10月9日(土) 14時から
場所：北星学園大学内教室 A教室

テーマ：「もう一度考えたい ことばの力」

◆ クリスマスチャペルコンサート

日時：12月11日(土) 14時から
場所：北星学園大学チャペル
演奏者：後藤ミホコさん(アコーディオン奏者)
*演奏予定曲目/チャールダーシュ・ロシアのうた(出会い、カリンカ、黒い瞳)
ブルガリア組曲・ハンガリー舞曲第6番 ほか

お申し込み方法について

「〇月〇日 〇〇コンサート(または、10月9日講演会)希望」と明記のうえ、「お名前、お電話番号、参加希望人数」をお書きになり、お葉書、FAX、E-mail、又はお電話にて下記までお申し込みください。

なお、整理券等は発行しておりませんので、お申し込みをされた方は当日直接、大学チャペルまでお越し下さい。

なお、小さなお子様の入場はご遠慮ください。定員に達し次第、受付をお断りする場合がございますのでご了承ください。

受付開始日について

弦楽三重奏団レイラと山崎 衆さんコンサート
●9月1日より開始

山根基世さん講演会
●9月25日より開始

クリスマスチャペルコンサート
●11月27日より受付開始

連絡先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学同窓会事務局 TEL：891-2731 FAX：892-6097

E-mail：dousoukai@hokusei.ac.jp

(電話受付時間 平日 9:00~16:00 土曜 9:00~12:00)

2010年度 成績優秀者学業奨励生 (学籍番号順)

英文学科

0701013 0801040
0701033 0801044
0701052 0801061
0701068 0801065
0701082 0801084
0701102 0801089
0701104 0801090
0701136 0801114
0701137 0901042
0701138 0901054
0701141 0901091
0801016 0901093
0801024 0901102
0801029

心理・応用コミュニケーション学科

0708002 0808043
0708013 0808051
0708026 0808073
0708036 0808077
0708048 0808090
0708060 0808095
0708069 0908011
0708089 0908020
0708106 0908038
0808015 0908041
0808030 0908056
0808035

経済学科

0703001 0703119
0703011 0703137
0703016 0703141
0703019 0703143
0703036 0703167
0703052 0803009
0703062 0803020
0703071 0803023
0703087 0803041
0703090 0803057

0803058 0803158
0803062 0903019
0803068 0903023
0803083 0903081
0803085 0903100
0803112 0903139
0803133 0903143
0803140 0903179
0803154

経営情報学科

0704004 0804071
0704010 0804080
0704011 0804082
0704014 0804105
0704021 0804107
0704050 0804118
0704064 0804122
0704091 0904001
0704110 0904017
0704115 0904025
0804013 0904030
0804033 0904127
0804039

経済法学科

0709011 0809038
0709023 0809039
0709035 0809047
0709041 0809050
0709047 0809057
0709050 0809066
0709053 0809085
0709082 0809106
0709100 0909018
0709105 0909076
0709139 0909078
0809013 0909101
0809015 0909120
0809018

福祉計画学科

0705001 0705032
0705017 0705051

0705060 0805044
0705065 0805056
0705076 0805060
0705084 0905008
0805007 0905010
0805011 0905019
0805015 0905061
0805027 0905088
0805034

福祉臨床学科

0706013 0806017
0706032 0806027
0706034 0806039
0706045 0806051
0706053 0806080
0706083 0906007
0706084 0906032
0706101 0906037
0806001 0906048
0806008 0906067
0806011

福祉心理学科

0707004 0807031
0707005 0807033
0707016 0807057
0707061 0907036
0707071 0907044
0707072 0907045
0807010 0907062
0807014 0907066
0807020

英文学科(短大部)

0971034 0971066
0971040 0971094
0971042 0971133

生活創造学科(短大部)

0972053 0972085
0972056 0972092
0972072

体育祭を終えて

第49回 大学祭実行委員会

委員長 秋山 浩美

今年度の体育祭は、全競技の全日程を無事に終えることができた大変嬉しく思います。今年度は例年に比べ天候にも恵まれ、参加希望者の数も多く主催者側といたしましては大変嬉しく思います。また、参加者の方々に思い切り体育祭を楽しんでいただけたようにとの意を込め、今年のスローガンは「4日間のアバンチュール」みんな輝け体育祭2010」と致しました。例年通り、各競技素晴らしい盛り上がりを見せ、参加者の方々にはより良い思い出になったと思います。また、例年同様各サークル・有志の皆様から多大なご協力をいただきました。

その結果、円滑な運営、公平な審判で競技が行われ、無事成功を収められたことに感謝しては、大学祭実行委員一同感謝の気持ちでいっぱいです。また、今年度は大学窓会の方々からもご協力をいただき、より活発な体育祭を運営することができました。しかし、今年も飲食や野次などの意識の低さがうかがえまして、今後は参加者の方々の意思の向上が図れるように願っています。

最後になりましたが、今後も皆様の思い出に残るような体育祭にするために、我々大学祭実行委員一同、今年度の成果をもとにより円滑な運営を努力してまいりますので、皆様ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



第43回 北星学園大学社会福祉夏季セミナー

Summer Seminar for social work
Hokusei Gakuen University

テーマ：「現代のわが国における生活保障のあり方とその課題」

今、日本社会はどのような状況を呈しているであろうか。財政は慢性的に赤字となっており、国の借金は900兆円を超えといわれている。この中でとりわけ、医療、年金、介護といった社会保障に係る費用は膨張し続け、社会保障制度そのものの持続可能性が問われている。一方、そのような普遍的ニーズに対応するような制度とは別に、社会全体に目を向けてみると、先進国中トップクラスの社会的不平等の拡大、「リストラ」に伴う正規社員の削減と、その代替策としてのフリーターなどの非正規雇用者の増加、ホームレスの増加と排除といった現象、

さらには、生きることそのものをやめてしまうという自殺者の増加などが見られる。このような状況は、われわれ国民の生活基盤そのものが危機にさらされている状態であるといえ、従来の社会保障制度が前提としてきた日本社会そのものの変容を意味している。そこで、今年度の北星学園大学社会福祉夏季セミナーでは、日本社会の変容を踏まえつつ、社会保障・社会福祉および雇用政策までを視野に入れた「生活保障」を軸に、今、われわれがおかれている状況を整理し、その課題の抽出を試みることにしたい。

プログラム		9月3日(金)		(敬称略・順不同)	
9:30	受付	13:00	パネルディスカッション	【生活保障から見る実践現場の課題】 司会/佐橋 克彦 伊藤新一郎	
9:50	開会式 学長挨拶 学長 金井 新二 主催者挨拶 社会福祉学部長 今川 民雄 オリエンテーション	15:20	<15分休憩>	1) 「就労・雇用の観点から見る生活保障」 就業・生活応援プラザとねっと センター長 重泉 敏聖	
10:00	基調講演 「社会福祉の生活保障機能を考える(仮)」 北海道大学大学院教授 宮本 太郎	15:35	コメント+総括討論 コメンテーター/北海道大学大学院教授 宮本 太郎 岩手県立大学社会福祉学部准教授 都築 光一	2) 「医療サービスの観点から見る生活保障」 札幌麻生脳神経外科病院 医療生活相談室長 星野由利子	
11:15	質疑応答 司会/杉岡 直人	16:15	終了	3) 「介護サービスの観点から見る生活保障」 特別養護老人ホーム青葉のまち 相談支援課長 芦崎 祐公	
11:45	<昼食・休憩>	17:00	交流会 (学生会館3階)	15:00 交流会 (学生会館3階)	
		18:30	散会		

- 会場 北星学園大学内A教室(図書館棟4階)
- 定員 140名(定員に達し次第締め切ります。)
- 受講資格 社会福祉に関心をお持ちの方。
- 受講料 2,000円(学生1,000円)
- 申込締切 8月19日(木)必着(申込書および受講料入金)
- 申込方法 申込書に必要事項をご記入いただき、50円切手を貼付してお送りいただくとともに受講料をお振り込みください。(受講料を添えて大学窓口<エクステンション課>で申し込むこともできます。)
- 受講料の振込方法 本要項に折込の本学所定振込用紙を使用して、金融機関で電信扱いにてお振り込みください。振込手数料はご負担願います。(金融機関の収納印をもって領収書に代えられますので、振込金受取書は大切に保管してください。) なお、欠席の場合は原則として受講料の返金はいたしません。
- 昼食 昼食は大学生協の食堂を利用することができます。
- その他 受講料のお振込が確認され次第、順次「受講証」をお送りいたしますので、セミナー当日忘れずにお持ちください。もし、受講証が郵送されてこない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。 託児および手話通訳者の希望、車椅子等で介添えの必要な方は、申込書の通信欄にその旨お知らせください。 後日、大学から連絡させていただきます。 なお、ご記入いただきました個人情報は、本セミナーを催行する目的以外には使用いたしません。

このセミナーについてご不明な点があれば、右記までお問い合わせください。北星学園大学 エクステンション課 社会連携係 (C館1階) TEL 011-891-2731 (内線7131)

Extension lecture Hokusei Gakuen University

第36回 北星学園大学公開講座

テーマ「市民のための平和学—草の根から創る平和」

WHO(世界保健機関)の報告によれば、毎年世界で1600万人の人々が暴力によって命を失っています。このうち、戦争・テロなどの集団的暴力によるものは約2割、家族・知り合い・他人などの対人暴力によるものが3割、残り5割は、なんと自己指向暴力(自殺、自傷、薬物乱用等)によるものです。この報告は、世界の平和が戦争やテロといった大きな暴力によって脅かされているだけで

なく、一般市民の日常がさまざまな形の小さな暴力にさらされ、決して平和とはいえない状況にあることを示しています。大きな暴力と小さな暴力の間には、強いつながりがあります。国際社会における軍事化が社会に様々なひずみを生み、また社会内で培われた意識が紛争を激化させたことは、私たちの歴史的経験でもあります。1人の市民として現代社会に生きる私たちは、いかにしてこの暴力の連鎖を断ち切り、平和に共生することができるのでしょうか。講座では、紛争転換、教育、異文化コミュニケーション、フェアトレード、社会運動、憲法という複数の視点から専門の講師が、草の根から平和を創り出す市民のための平和学を講義します。グローバル化が進み、ローカルな地域で起こることが地球規模のグローバルな課題と直結していることがますます明らかになりつつある今日、身の回りの日常からグローバルな世界に広がる平和を創る知恵と力を、6回の講義を通じて探求します。

■開講日程および講義題目

日 程	講義題目	講義概要	講 師
◎第1回 9月24日(金)	「フェアトレードが創る平和」	講座全体のねらいと、各回講義の紹介の後、日常的な買い物によるもっとも身近な国際協力、フェアトレードの意義を考えます。公正な貿易とも呼ばれるこの活動は、世界で、日本で、そして北海道でどのように行われているのでしょうか。フェアトレードが、どのようにして平和の実現に貢献できるのか、具体的な事例から考えます。	北星学園大学 経済学部教授 萱野 智篤
◎第2回 10月1日(金)	「紛争から創る平和—紛争転換とは何か」	紛争(つまり人間関係における見解や立場の不一致状況)を切り口に平和を創り出す方法を考えます。ちょっとしためめ事やいさかいは誰もが経験します。しかしそれが時には深刻な対立に発展し、当事者が深く傷つき、関係が破綻することもあるので侮れません。争いがいかに過熱するかを分析して、争いを平和的に取り扱う方法を学びましょう。	北星学園大学 非常勤講師 片野 淳彦
◎第3回 10月8日(金)	「平和を脅かすものを見つける—暮らしの中から」	多くの人が「平和は大切」と考えています。でも、「平和」という言葉がもつイメージは人さまざま。この講義では、私たちの平和や安全な暮らしを脅かすものは何かという視点から、平和をつくるために何が大切かについて考えます。	北星学園大学 非常勤講師 越田 清和
◎第4回 10月15日(金)	「教育が創る平和」	講義では、まず本学との国際交流プログラムの一つである米国のBCA(Brethren College Abroad)プログラムを取り上げ、このような国際的な教育プログラムの重要な役割を指摘します。特に、BCA加盟大学である米国Manchester Collegeが、1948年に世界で初めて開始した平和学プログラムを紹介し、その設立に至る歴史や今日までの活動についても触れて、日本の平和に関する教育や平和学の状況についても考えます。	北星学園大学 文学部専任講師 片岡 徹
◎第5回 10月22日(金)	「憲法が創る平和」	憲法は、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と宣言しました。もちろん、私たちもまた、平和を愛するということが大前提です。そして、「愛すること」「信じること」は、態度で示さなければ、意味がありません。「市民として平和を愛し、他国を信ずるということがどういうことなのか」を皆さんと一緒に考えたいと思います。	北星学園大学 経済学部教授 岩本 一郎
◎第6回 10月29日(金)	「異文化コミュニケーションが創る平和」	人間の潜在的な実現可能性を阻害する「暴力」の不在を平和と捉えれば、現在の日本社会には、平和であるとはとても言いえないほど問題が山積しています。この講義では、人が自分とは「異質」な他者に対して抱く偏見やステレオタイプに焦点をあてつつ、異文化コミュニケーション学の視点から平和の実現に近づく方法について考えてみたいと思います。	北星学園大学 文学部教授 長谷川典子

- 開催時間 午後6時20分~午後7時50分まで
- 会場 北星学園大学内教室
- 定員 200名(定員に達し次第締め切ります。)
- 受講資格 期間中受講できる方。
- 受講料 一般2,000円(全期間セットの受講料となっております。)
- 申込期間 9月3日(金)必着(申込書および受講料入金)
- 申込方法 申込書に必要事項をご記入いただき、50円切手を貼付してお送りいただくとともに受講料をお振り込みください。(受講料を添えて大学窓口<エクステンション課>で申し込むこともできます。)
- 受講料の振込方法 本要項に折込の本学所定振込用紙を使用して、金融機関で電信扱いにてお振り込みください。なお、振込手数料はご負担願います。(金融機関の収納印をもって領収書に代えられますので、振込金受取書は大切に保管してください。)
- 修了証書 4回以上受講した方に対し、修了証書を交付します。
- 道民カレッジ 北海道生涯学習協会が主催する「道民カレッジ」連携講座 教養コース6単位の道民カレッジの受講生は申込書にてお知らせください。
- その他 受講料のお振込が確認され次第、順次「受講証」をお送りいたしますので、セミナー当日忘れずにお持ちください。もし、受講証が郵送されてこない場合は、お手数ですが、下記までお問い合わせください。車椅子等で介添えの必要な方は、申込書の通信欄にその旨お知らせください。後日、大学から連絡させていただきます。なお、ご記入いただきました個人情報は、本講座を催行する目的以外には使用いたしません。

この講座についてご不明な点があれば、下記までお問い合わせください。北星学園大学 エクステンション課 大学公開講座係(C館1階) TEL011-891-2731(内線7132)

北星学園大学
教育振興寄付金(芳名
寄付)

募金のご協力に深く感謝申し上げます。
2010年
5月1日から6月30日まで
(敬称略)

- ☆大学短期大学部 (父母・一般・元教職員)
- | | |
|-------------|-------|
| 立田 公一 | 鷹野 正義 |
| 新谷 美誠 | 池田 証寿 |
| 山形 浩 | 間山 裕 |
| 吉田 由恵 | 大澤 昭仁 |
| 今 嗣生 | 本間三枝子 |
| 新井田利信 | 池田 昭治 |
| 眞田 定雄 | 伊藤 英二 |
| 上井 好行 | 梶浦 尚身 |
| 佐藤 祐志 | 清水 峰男 |
| 札幌オーナーズ株式会社 | |

あ と が き

風鈴の音色が心地よい季節になりました。子どもの頃の夏休みを懐かしく感じる今日この頃であります。さて、事務局では各地で開催されます地区別父母懇談会に向けて只今準備を進めております。これまで参加された皆様からのアンケートでは、「来てよかった」という声を数多くいただきました。今年も多くのご父母の皆様にご参加いただき、各会場でお会い出来ることを心より楽しみにしております。

(後援会事務局 大野)